

わくわく 本だな 7・8月



こんげつのおすすめ

★ = 1・2年
★★ = 3・4年
★★★ = 5・6年

『ぱんつくったよ。』 (えほん)

平田 昌広/作 平田 景/絵 国土社



きみはなんてよむ? 「ぱん、つくった」かな。でも、くぎるところをかえると…? ふしぎなことばあそびのえほんです。

『バナナのはなし』 (えほん)

伊沢 尚子/作 及川 賢治/絵 福音館書店



バナナの花ははずかしがりや。こんなところにこっそりさきます。どんな花がさくのでしょうか。

『家出しちゃった』 ★

藤田 千津/作 夏目 尚吾/絵 文研出版

おかあさんとケンカしたコウは家出をします。こうえんであったマコトとチョコちゃんをつれて、さあ、どこへいこう?



『かわいいゴキブリのおんなの子』

『メイベルのぼうけん』 ★★

ケイティ・スペック/作 おびか ゆうこ/訳

大野 八生/画 福音館書店

ゴキブリのメイベルは、^{にんげん}人間の^{いえ}家でひそかにくらしていました。でも大こうぶつに目がくらみ、ついとびだしてしまいます。



『竜が呼んだ娘』 ★★★

柏葉 幸子/作 佐竹 美保/絵 朝日学生新聞社



竜に選ばれたミアは、王宮に連れて行かれます。ミアが住むことになったのは、^{まじよ}魔女の^{のろ}呪いにかかった^{ゆうしや}勇者の部屋でした。

『ランドセルは海を越えて』 (ちしきの本)

内堀 タケシ/写真・文 ポプラ社



^{つか}使われなくなったランドセルを、アフガニスタンへ贈る^{おく}運動^{うんどう}があります。なかなか学校へいけない子どもたちは、とてもうれしそうです。



あたらしく はいった本

『みならい騎士とブーツどろぼう』 (えほん)

クエンティン・ブレイク/作・絵 谷川俊太郎/訳 好学社

スナッフはしっぱいばかりの騎士みならい。でもある日、ブーツつくりの家に入ったどろぼうを、スナッフの思いつきでこらしめます。



『ねぼけてなんかいませんよ』 ★

森山 京/作 佐野 洋子/絵 フレーベル館



おばあさんがにわでてがみをかいていると、どうぶつたちがきててをかいにやってきます。でも、どうぶつのおかねってどんなもの？

『雨がしくしく、ふった日は』 ★

森 絵都/作 たかお ゆうこ/絵 講談社



クマのマーくんは、雨のしとしとふる音がだれかのなき声にきこえます。きになっておちつきません。なっているのはだれなのでしょう。

『春の海、スナメリの浜』 ★★

中山 聖子/作 江頭 路子/絵 佼成出版社

由良は友だちとうまくいなくて悩んでいました。そんなとき、スナメリというふしぎな動物とのであいが、由良を変えてくれます。



『魔女のシュークリーム』 ★★

岡田 淳/作・絵 BL 出版

シュークリームが大、大、大すきなタイスケ。ある日、まじよの手下に巨大なシュークリームをたべてほしいとたのまれます。



『宇宙犬ハッチー— 銀河から来た友だち』 ★★★

かわせ ひろし/作 杉田 比呂美/絵 岩崎書店



ある夏の日、友樹はかわいい子犬を拾います。その子犬は、2本足で立つと、「自分は宇宙人だ」と話しはじめたのです。

『だれにも言えない約束』 ★★★

ジーン・ブッカー/作 中山 成子/絵 岡本 さゆり/訳

文研出版



第二次世界大戦中のイギリス、エレンは敵のドイツ兵と一緒にがれきの中に閉じこめられてしまいます。そこで、二人はある約束をしました。

『サンゴの海』 (ちしきの本)

長島 敏春/写真・文 偕成社

ページをめくると、石垣島のうつくしい海。サンゴ礁とともに生きる生きものたちの世界をのぞいてみよう。



『この羽 だれの羽?』 (ちしきの本)

おおたぐろ まり/作・絵 偕成社

公園や道に落ちている鳥の羽。大きさや色、形をよくみてみるとどの鳥の羽なのかわかります。この本であなたも鳥の探偵に！



読みたい本、さがしている本は窓口で聞いてね！としょかんのホームページも見てください。

< 編集・発行 > 富山市立図書館 富山市丸の内1丁目4-50 電話 076-432-7273